

ボルネオ島の生物多様性と持続可能な森林経営

持続可能な開発目標 (SDGs) 15に挙げられる「森林生態系の保全と持続可能な森林管理」の目標は、他よりも10年早い2020年。その達成のカギは、木材やパーム油の生産地として減少と劣化が進む東南アジアの熱帯林を、いかに維持できるかにかかっているととも言えます。陸上の生物多様性の半分を支えていると言われる熱帯林。その多様性はどのように構成されているのでしょうか。



今回のフェアウッド研究部会では、インドネシア、マレーシア、ブルネイにまたがるボルネオ島で16年という長きにわたり野生動物と森林の関係を観察してきた専門家の安間繁樹先生から、生物多様性の観点からみた熱帯林の現状と持続可能な森林経営の在り方について、お話を伺います。

【講演】 2019年 5月15日 (水) 17:00～20:00 (開場 16:30)
【場所】 地球環境パートナーシッププラザ (東京都渋谷区神宮前5-53-70国連大学ビル1F)
【会費】 ￥3,000 (懇親会費1,000円を含みます。当日受付でいただきます)

【プログラム】 ※内容は予告なく変更することがあります

第1部 講演「ボルネオ島の生物多様性と持続可能な森林経営」
 安間繁樹氏 / 動物生態学者、元JICA野生生物調査専門家

第2部 懇親会



安間繁樹氏 (やすま・しげき)

東京大学大学院博士課程修了。農学博士 (哺乳動物生態学専攻)。
 世界自然保護連合種保存委員会 (IUCN・SSC) ネコ専門家グループ委員。熱帯野鼠対策委員会常任委員。公益財団法人平岡環境科学研究所評議員。2004年 市川市民文化ユネスコ賞受賞。
 若い頃から琉球列島に関心を持ち、とくにイリオモテヤマネコの生態研究を最初に手がけ、成果をあげた。1985年からは、おもに国際協力機構 (JICA) 海外派遣専門家として、ボルネオ島で調査および研究指導に携わってきた。西表島とボルネオ島に関し、あるがままの自然と人々の営みを記録すべく歩き続けている。

【お申し込み】

お申し込みフォーム (<https://ssl.form-mailer.jp/fms/0fb016c0441802>) にてお申し込みください。

フォーム記入ができない場合、「第38回フェアウッド研究部会参加希望」と件名に明記の上、
 ①お名前②ふりがな③ご所属 (組織名及び部署名等)④Eメールアドレスを、
 メールにてinfo@fairwood.jpまで送付ください。

※定員60名

【お問合せ】

地球・人間環境フォーラム (担当: 坂本)

<http://www.fairwood.jp>, info@fairwood.jp, TEL: 03-5825-9735

ワイス・ワイス (担当窓口 / 広報課 野村)

<http://www.wisewise.com>, press@wisewise.com, TEL: 03-5467-7003

